

文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討会議(第1回)

ガイドラインの検討に向けた 部活動に関わる現状認識の共有



2018年7月12日

妹尾 昌俊

教育研究家、学校マネジメントコンサルタント
文部科学省 学校業務改善アドバイザー
中教審「学校における働き方改革特別部会」委員
NPO法人まちと学校のみらい 理事

senoom879@gmail.com

まずは、改めて現状認識

土日の休日を取れていない教員は相当数に上り、

とりわけ部活動の顧問では、4週4休取れていない人が多いと推察される。

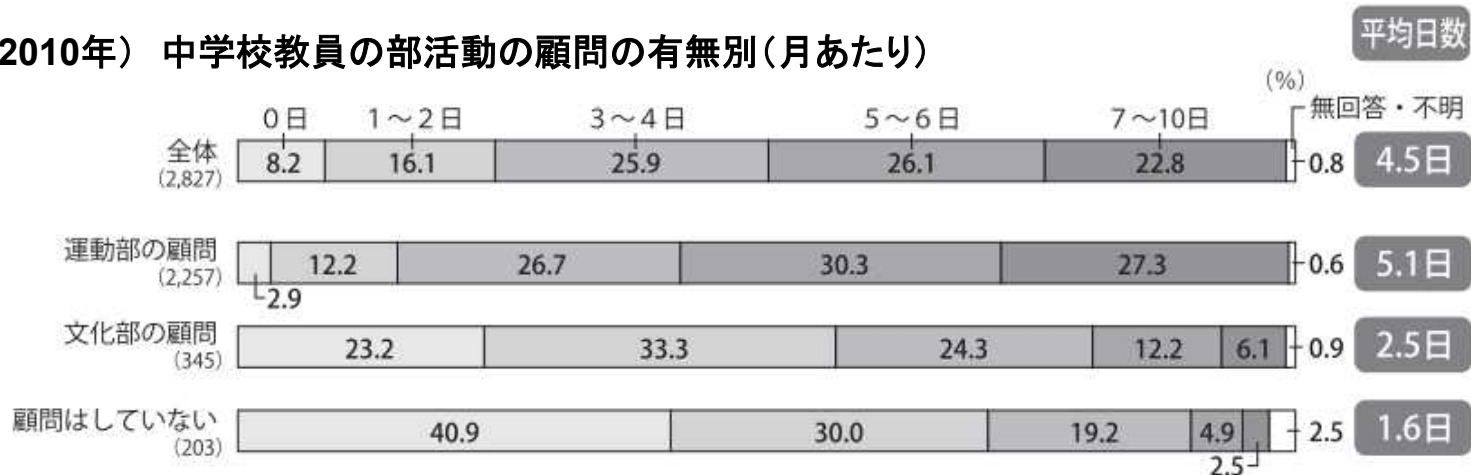
- 土曜または日曜にほとんど毎週出勤している教員は、小学校16.7%、中学校74.5%、高校52.4%に上る。
- 中学校の文化部の顧問では、約2割が月5日以上土日出勤している
 ≡ 4週のうち4休取れていない可能性大であり、労基法(35条)にも抵触する可能性がある。

第6回調査(2016年)

ベネッセ「学習指導基本調査」 土日の出勤状況



第5回調査(2010年) 中学校教員の部活動の顧問の有無別(月あたり)



名古屋市立中学校 2016年度新任教員 全員分の時間外在校時間

	男女	教科	学年	部活動名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
					時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
1	男	理	2	剣道	89	80	129	54	10	100	133	117	114	127	137	120
2	男	理	3	バスケット	99	104	133	131	15	85	131	100	116	89	114	78
3	男	国	2	卓球	98	112	115	97	16	112	113	107	98	109	117	108
4	男	特支		バスケット	110	62	50	74	10	82	94	60	62	68	52	75
5	男	社	3	野球	63	63	60	59	3	67	81	75	65	63	71	34
6	男	体	1	バスケット	80	98	75	83	34	78	70	54	60	57	67	27
7	男	特支		ソフトボール	81	70	73	81	15	74	63	74	54	54	54	60
8	男	数	1	陸上	144	138	166	134	50	139	116	105	96	92	99	95
9	男	体	3	サッカー	106	86	87	82	19	91	75	86	88	61	73	71
10	女	英	1	陸上	65	104	112	89	31	102	96	93	84	70	70	92
11	男	美	3	バスケット	88	88	97	88	10	93	93	90	95	70	74	37
12	男	国	1	バスケット	84	86	89	72	13	132	84	93	88	91	86	92
13	女	音	3	合唱	63	65	80	78	15	76	79	64	67	79	71	58
14	男	技家	2	バスケット	68	57	54	33	13	64	60	45	62	75	66	100
15	男	体	2	ハンドボール	129	148	131	106	18	151	116	98	125	83	77	88
16	女	技家	3	卓球	81	100	60	87	13	104	98	100	93	76	92	58
17	女	特支		卓球	110	88	95	71	7	92	90	50	60	49	50	67
18	男	体	3	野球	141	128	87	124	36	127	117	113	106	90	113	85
19	女	体	1	卓球	121	82	98	106	16	111	97	105	94	49	89	100
20	男	理	1	バスケット	24	32	43	29	0	45	43	50	40	32	50	33
21	男	社	1	吹奏楽	77	122	139	138	14	144	147	128	101	104	147	100
22	男	特支			37	44	54	19	1	33	47	27	21	11	48	16
23	女	体	1	ハンドボール	104	81	74	62	17	52	86	52	50	39	52	70
24	男	特支		バスケット	79	63	66	70	2	68	61	57	58	59	57	45
25	男	社	2	ラグビー	99	100	112	68	14	98	98	91	74	76	98	78
26	男	英	1	合唱	80	76	73	70	15	64	61	48	43	50	69	78
27	女	特支		水泳	51	61	72	57	3	35	37	36	39	31	54	47
28	男	理	1	バレー	153	99	97	95	5	90	103	82	103	62	81	84
29	男	国	2	サッカー	98	101	106	51	0	79	83	94	66	66	91	77
30	女	国	2	ハンドボール	125	132	126	122	28	124	156	122	93	94	112	103
31	女	特支		テニス	96	110	96	58	5	76	107	85	54	56	71	63
32	女	美	2	美術	63	57	75	46	8	79	70	72	65	58	85	79
33	男	社	1	バレー	78	93	107	86	16	88	82	88	105	69	93	77
34	女	音	1	吹奏楽	127	99	36	142	14	46	36	78	60	52	55	48
35	女	社	3	テニス	177	165	151	111	19	125	153	156	122	122	141	111
36	男	理	1	ラグビー	136	125	197	134	31	114	142	126	124	103	134	138
37	女	技家	2	家庭	146	128	179	103	13	107	105	75	73	68	100	102
38	男	数	1	野球	117	102	125	128	42	110	129	103	99	79	117	130
39	女	技家	1	テニス	80	75	86	59	0	60	74	74	41	53	64	65

注)黄色は80時間以上130時間未満、
赤色は月130時間以上

出所)中村茂喜・大橋基博「教員の勤務実態記録から見えてくる部活動の影」(『季刊教育法』2018年3月)をもとに作成

名古屋市立中学校 2016年度新任教員 全員分の時間外在校時間（前頁からの続き）

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	男女	教科	学年	部活動名	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間	時間
40	女	国	1	ジャズオーケストラ	83	80	76	59	6	66	57	86	72	65	54	38
41	女	体	2	バスケット	83	78	87	70	26	90	79	74	64	55	81	80
42	女	社	2	バスケット	116	94	124	77	5	114	101	103	91	86	109	93
43	男	理	1	水泳	93	87	93	78	6	114	105	116	71	88	82	88
44	男	社	2	ラグビー	109	115	156	124	46	147	120	123	115	107	130	126
45	女	特支		吹奏楽	69	67	65	70	18	81	66	53	46	33	55	66
46	女	特支		テニス	96	103	116	95	30	115	98	84	90	84	97	94
47	女	理	2	バスケット	61	62	82	67	10	80	77	75	82	92	83	82
48	女	国	2	卓球	74	71	92	62	8	83	90	60	73	68	81	88
49	女	理	2	吹奏楽	107	110	136	79	20	77	73	82	65	70	82	92
50	男	体	1	サッカー	150	145	147	131	28	129	108	102	106	89	98	114
51	女	特支		園芸	34	49	50	31	1	46	44	38	27	38	41	23
52	男	特支		野球	93	84	100	77	19	93	70	84	73	65	79	71
53	女	国	1	美術	65	96	116	81	4	79	87	76	59	65	117	102
54	男	技家	1	バスケット	95	99	114	95	18	102	90	78	71	96	108	93
55	女	美	1	美術	140	108	161	113	24	114	114	133	98	80	101	71
56	男	理	2	テニス	176	116	133	120	45	119	108	87	119	78	125	119
57	女	特支		バドミントン	52	64	67	60	6	75	62	43	42	64	60	92
58	男	体	1	サッカー	82	72	80	56	6	74	62	69	66	55	65	76
59	男	数	3	バスケット	114	74	74	60	14	86	68	84	49	64	62	50
60	男	理	1	柔道	96	77	120	87	23	93	90	88	73	68	92	72
61	女	国	3	バスケット	53	84	49	127	55	128	119	110	116	111	101	115
62	女	国	2		32	37	49	14	0	0	0	0	0	0	0	0
63	女	国	1	音楽	65	98	88	74	4	80	88	84	88	86	120	135
64	女	音	3	卓球	126	118	98	78	1	88	96	90	62	77	89	60
65	男	理	2	野球	118	117	108	82	32	88	80	86	64	83	97	95

注)黄色は80時間以上130時間未満、
赤色は月130時間以上

出所)中村茂喜・大橋基博「教員の勤務実態記録から見えてくる部活動の影」(『季刊教育法』2018年3月)をもとに作成

献身的な先生が倒れている

愛知県立商業高校の男性教諭(42歳)が、2009年10月午後11時45分頃、コンピュータ実習室において仰向けに倒れていたところを巡回中の警備員に発見され、救急搬送された。数日後にくも膜下出血で死亡した。この教諭は全国大会で3年連続団体優勝していた情報処理部の顧問を務めており、休日も8:30～16:00頃までかかることもあった。

校務分掌では、教員や生徒用のパソコンの修理を行うなど、種々雑多な作業を行っていた。学習指導では、情報処理試験対策等も担っていた。

2017年3月地裁にて公務災害による過労死と認める判決が出た。判決では、教諭が倒れる直前1ヶ月間の時間外勤務は少なくとも95時間余と認定。行政の過労死認定基準基準(100時間)に照らして「特に過重だとは肯定も否定もできない」としながらも、教諭が担当していた授業、部活動顧問、多くの校務、体験入学の準備などの勤務内容の「質」とあわせて総合的に検討した結果、過労死と判断した。

出所)名古屋地裁判決文をもとに作成

献身的な先生が倒れている

長野県立伊那北高校の神田厚教諭(39歳)は2001年12月自宅の寝室でくも膜下出血のため亡くなった。

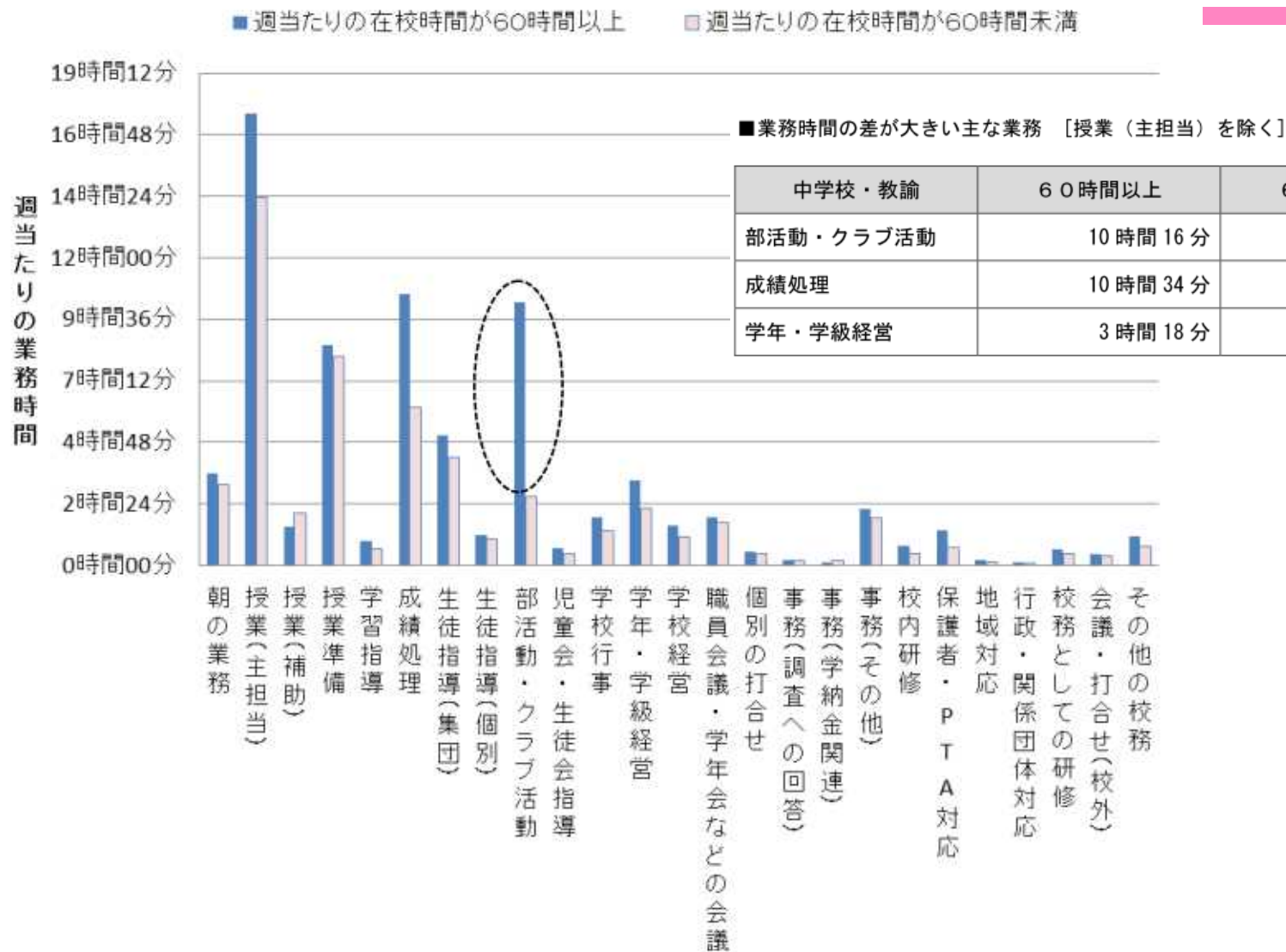
神田さんは、現代文の教師で、3年生の進路指導と文芸部の顧問を担当していた。受験対策の教材づくりや進路相談を熱心に行っていた。副教材など独自の教本用ノートも大量に残っている。県高校文化連盟の事務局を引き受け、詩の審査委員として、生徒の夏休み中も詩の評論等の作業にあてていた。

当時進学校のこの高校は、全国模試の結果が過去数年に比べて落ち、受験対策へのプレッシャーは強まっていた。

2001年12月12日、神田さんは精神的に不安定だった生徒を、自分の車で病院へ送った。「生徒の命にかかわる問題だから」。自身も体調を崩して早退する予定だったが、38度半ばの熱を押しして運転した。午後8時すぎ、帰宅した神田さんはぐったりしていた。神田さんが亡くなったのはこの翌々日である。

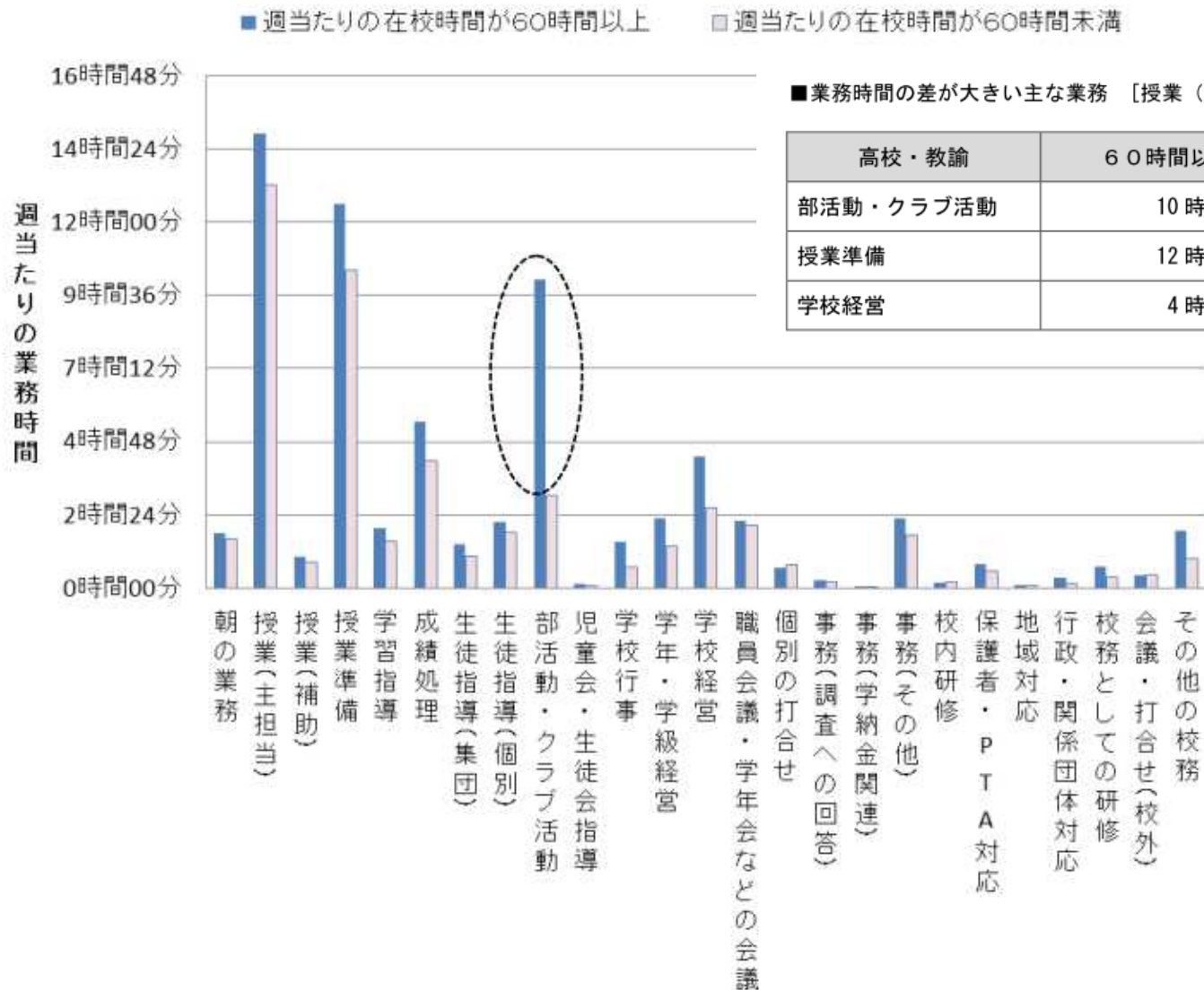
出所)信濃毎日新聞 2009年4月26日等をもとに作成

多忙の内訳を見よ：何に時間を使っているのか？ 東京都中学校教諭



多忙の内訳を見よ:何に時間を使っているのか? 東京都立高校教諭

【過当たりの在校時間60時間以上・60時間未満の業務時間比較】



出所)東京都公立学校教員勤務実態調査(2017年6~7月実施)

過労死ラインを超えて働く教員の多くは、授業準備も熱心だが、それ以上の時間を部活動に費やしている。

日本の中学校教員の1週間の労働時間、内訳（総労働時間別結果）

(時間)

	仕事時間の合計	指導(授業)	授業の計画や準備	学校内での同僚との共同作業や話し合い	生徒の課題の採点や添削	生徒に対する教育相談	学校運営業務	一般的事務業務	保護者との連絡や連携	課外活動の指導	その他の業務
週30時間以上40時間未満 (n=120)	33.1	16.9	5.4	2.4	3.6	1.6	1.4	2.9	1.0	5.7	0.8
週40時間以上60時間未満 (n=1,233)	49.7	17.9	7.7	3.4	4.0	2.3	2.4	4.5	1.1	5.6	1.7
週60時間以上75時間未満 (n=1,249)	64.3	18.3	9.6	4.4	5.1	3.1	3.4	6.4	1.4	8.7	2.9
週75時間以上 (n=372)	81.2	19.2	11.0	5.3	5.8	4.5	4.3	8.5	1.9	13.3	4.5
(日本全体の平均)	53.9	17.7	8.7	3.9	4.6	2.7	3.0	5.5	1.3	7.7	2.9
(調査参加国全体の平均)	38.3	19.3	7.1	2.9	4.9	2.2	1.6	2.9	1.6	2.1	2.0

週60時間以上働いている(≡月残業時間が80時間以上)教員

- ✓ 授業の準備に時間をかけており(10~11時間)
- ✓ 課題の採点・添削も丁寧(5~6時間)
- ✓ 事務業務(おそらく分掌業務)もよくこなし(6~8時間)
- ✓ 部活も熱心(9~13時間)

愛知教育大学等「教員の仕事と意識に関する調査」(2015年実施)

Q あなたは、次のような悩みや不満をどれくらい感じていますか。

図4-2 教員の仕事の悩み・不満



一番の悩みは
授業準備不足。
生活のゆとりも
ない。

こんな状態で
新学習指導要領のめざす
質の高い教育は
できるのか？

小学校1,482人、中学校1,753人、
高等学校2,138人の教員が回答。

データから見えてくること

1. 労働基準法を遵守できていない学校が多い可能性が高い。
⇒働き方改革 以前の問題 である。
2. 一部の教員は、文化部であっても、過労死ラインを超えるほどの過酷な勤務実態にいる。実際に、過労死となる事案も起きている。
公務災害・労災の申請までいかないケースも多いので、こうした事案は氷山の一角と推察される。
⇒
平均値だけで現状把握したつもりになって議論すると、非常に危うい。
3. 熱心な教員にとっては、部活動の時間が授業準備などによりも長いし、重い。
データはあまりないが、小学校の合唱部等の負担も重い。
⇒
限れた時間とエネルギーをどこに振り向けるかという優先順位の問題。
新指導要領で、授業の質向上は小中高ともに最重要テーマ。
にもかかわらず、部活指導に多くの時間とエネルギーが取られてしまっている。

スポーツ庁の運動部ガイドラインでは何を重視したか 活動規制の根拠をどこに置いたか

なぜ、もっと練習したいという生徒(+教師)がいるのに、規制をかけるのか？

1. スポーツへの参加時間が長ければ長いほど、けがや障害になる確率は高くなることが、実証されている。
 - 週16時間以上の場合、ないし“年齢×1時間”より多い場合は、けがの発生率が高いとの研究が複数ある(スポーツ庁の検討会議、2017年12月18日での報告)。ちなみに、これは体育の時間なども含めての時間。
2. 「長くやればやるほどうまくなる」という信仰は教員にも、生徒にも、保護者にも強いが、それはスポーツ科学の知見からは否定されている。
3. 子どもの学習時間や友達や家族との時間、自由な時間などをもっと認めていく必要がある。
 - 静岡市のガイドライン: Study、Sports、Societyの3つのバランスをもっと取っていこうというコンセプト
4. ハードな練習では参加しづらい生徒や途中でやめる生徒もいる。
そういう子にとってもスポーツに親しめる機会をつくる価値も重視していく必要がある。
 - ただし、これを学校教育でどこまで行うかは要検討。体育の時間の充実が先決か？
5. 顧問の教職員の負担の問題。部活以外の時間も大切だよねという話は、教師にも当てはまる。

文化部活動についても、大切にしたい視点

(中央教育審議会「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について(答申)」平成27年12月21日)

学校という場において子供が成長していく上で、教員に加えて、多様な価値観や経験を持った大人と接したり、議論したりすることは、より厚みのある経験を積むことができ、本当の意味での「生きる力」を定着させることにつながる。

そのためにも、「チームとしての学校」が求められている。

